

南の風



柏市立風早南部小学校

校長 伊藤 喜美子



気持ちも新たに！



<学校教育目標>

『自ら考え判断し、
表現する子』

【目指す児童像】

- 自ら考える子
- 自ら判断する子
- 自ら表現する子

朝晩急に涼しくなったかと思えば、日中汗ばむ日もあり、秋はどこへ行ったのか、と思う10月のスタートでしたが、校庭の二本の桜の木も色づき葉を落とし始め、秋の訪れを感じております。

先日、前期の終了日（9月29日）に通知票を渡しました。4月に学年が一つ進級し、6カ月が経った今、一人一人の子どもたちが自分のめあてを持ち、学習や生活に取り組む姿に成長を感じています。

さて、10月の全校集会では、後期のはじまりにあたり、気持ちも新たに充実した学校生活を送って欲しい！との願いを込めて、改めて「学校教育目標」について話をしました。

本校の学校教育目標は「自ら考え判断し、表現する子」です。このはじめの「自ら考える」とは、どのようなことを言うのでしょうか？これは「なんのためにやるのか？」「どうしてなのか？」など、自分なりに自分事として考えることです。例えば、「勉強は、なんのためにやるのか？」

「どうして黙働清掃をするのか？」など、学校生活の様々な場面で考えることです。この「学校教育目標」ですが、実は、「南部っ子の一日」という学校の決まりの中に書いてあるのです。今年度は、全校児童を代表して6年生が、この「南部っ子の一日」の内容について改めて見直してもらいました。6年生は、何度も学年集会を開き、どうしたら私たちの学校生活がよりよくなるのか、また、この決まりは何のためにあるのか、もっと分かりやすい言葉で示した方がいいのでは？などの意見が出されました。6年生の考えた意見をもとに、今年度の新しい「南部っ子の一日」を改定しました。

さらに、6年生は、考えただけでなく、「南部っ子の一日」を全校のみんなにも知ってもらいたい！全校集会で全校児童に向けて「南部っ子の一日」について話したい！との申し出があり、6年生を代表して、児童会の皆さんから「南部っ子の一日」について話をしてもらいました。なぜ、決まりがあるのか？それは、全校のみんながよりよく学校生活を送るためだと思います。ルールがある理由を考え、守って行動してほしい！また、6年生が考えて出した案以外にも、風早南部小学校をよりよくするためのアイデアがある人はいつでも伝えてほしい！みんなで、よりよい学校生活を送っていきましょう！と話してくれました。そして、全学級に改訂版の「南部っ子の一日」を配付してくれました。

私は全校集会の最後に、6年生だけが、児童会だけが考えればいいのではなく、1年生も2年生も3年生も4年生も自分の力で考えて、学校をよりよくしていくことができますし、5年生も6年生のように学校を動かすことができます！風早南部小学校を今以上によりよい学校にするのは、皆さんです！と話しました。

自分の学校をよりよくしていくのは自分なんだ！という意識をもって、学校生活に取り組めるように教職員一同、児童一人一人を見守っていきたいと思います。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

